

仏教専修科のご案内

鶴見大学附属高等学校

学園の沿革

鶴見大学附属高等学校の母体である総持学園は、大本山總持寺貫首、新井石禅禪師を学園長とし、曹洞宗大学(現駒澤大学)の学長、また曹洞宗宗務総長を歴任された中根環堂先生を初代の学校長として、『大覚円成』『報恩行持』の建学の精神のもとに、大正13年に設立されました。

その後、幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院を擁する総合学園として発展してまいりました。本校の前身は鶴見女子高等学校で、平成20年に男女共学となり、鶴見大学附属高等学校と名称変更しました。現在、総合進学コース・特進コースがあります。

仏教専修科

本校には、曹洞宗の僧籍を有する男子生徒に対して、仏教専修科規程に基づき、寺院住職に必要な基本的事項を修得することを目的とした仏教専修科があります。

仏教専修科生は、總持寺の境内に設置された仏教専修科寮『鶴翔寮』に3年間在寮し、仏教専修科の科目を履修しながら、高等学校の卒業単位を取得します。(仏教専修科の履修科目は卒業単位には含まれません。)

科目内容は、規程に基づき基礎的なものを重視します。学校で履修するものと寮や總持寺で履修するものとに大別され、相互に関連させながら修得します。また、曹洞宗宗制による特殊安居(3回)を修了しなければなりません。

●学校にて履修するもの

| | |
|------|-------------|
| 余 乗 | 仏教概論(2) |
| | 中国仏教史(2) |
| 布教教化 | 書道実習(1) |
| | ボランティア活動〈1〉 |
| | 仏教保育・弁論〈1〉 |

●寮・總持寺にて

- 一仏両祖の生涯と教え(2)
- 「般若心経」講読(2)
- 托鉢〈1〉
- 参禅(2)
- 宗学実習(2)



『鶴翔寮』について

鶴翔寮は總持寺の境内に位置し、学校への通学も大変便利です。また、總持寺の大伽藍の一角にあるため、修行僧の活気溢れる仏門修行を肌で感じることができます。伝統と格式ある伽藍に実際に足を踏み入れ、自らが坐禅・法要などを行わずすることは、貴重な経験となります。太祖常済大師のもとで、学校生活を送りつつ、静謐な總持寺の空気を身近に感じ、規律ある生活を送ります。

寮での生活は集団行動を基本とし、協調性や自律心を養い、寮内の作務の他、總持寺の御協力のもと僧侶としての実践的な基本知識、法式、進退などを学びます。食事は總持寺と提携し、栄養面を考慮して成長期の仏教専修科生に十分なものを提供致します。總持寺僧堂を経験した寮監(本校教師)が、生活をあたたかく見守ります。



寮生活の一例

| | | |
|-------------|--------|--|
| 6:00 | 起床 | |
| 6:30 | 朝課 | |
| 7:00 | 朝食 | |
| 7:30~7:50 | 作務 | |
| 8:10 | 登校 | |
| 8:25 | 始業 | 高校授業 カリキュラム ※放課後週に数 回の宗教科目 を履修 |
| 15:30 | 終業 | |
| 15:45~18:15 | 部活動等 | |
| 18:00~18:30 | 夕食 | |
| 19:00 | 学科・夜坐等 | |
| 22:00 | 就寝 | |

※總持寺での参禅は、週1回及び、各撮心会に随喜します。
※寮及び總持寺にて履修する学科は、總持寺役寮による講義となります。

※總持寺での朝課は、週3回行います。

※法衣・法具などは、原則各自で用意することとなります。



「宗乗」の講義

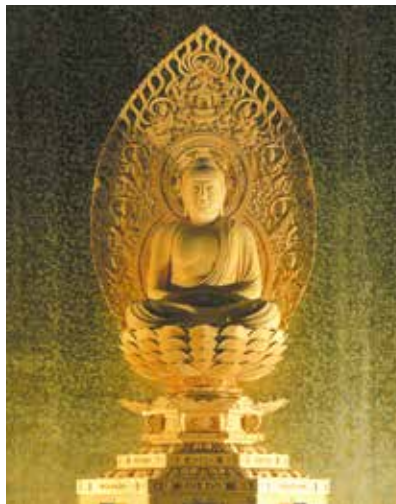


總持寺放光堂での朝課

大本山總持寺 案内図



本校講堂「本尊釈迦牟尼如来」仏師西村房威氏木彫像

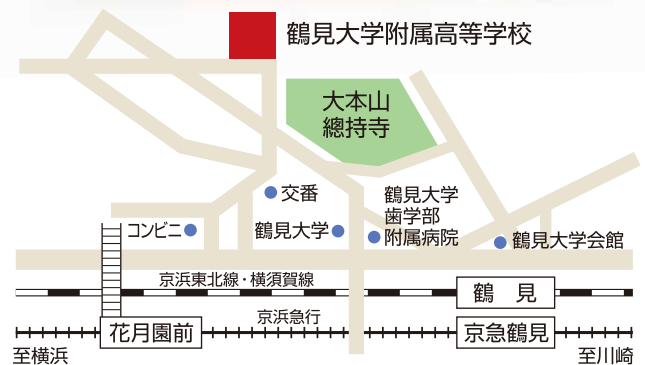


本校坐禪堂「慈眼堂」



仏教専修科推薦入学制度

仏教専修科を志願する者には
推薦入学制度があります。



鶴見大学附属高等学校

〒230-0063 横浜市鶴見区鶴見2-2-1 Tel: 045(581)6325(代) Fax: 045(581)6329 <http://www.tsurumi-fuzoku.ed.jp/>